

◇ 令和3年度 指定管理者事業評価書

施設名	草津市立文化ホール		指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針	
施設所管課	教育委員会事務局	生涯学習課	初年度	120,678,616円	21,246,610円	148,264,374円	計画通りの利用料金収入を確保し、計画的に予算執行を行った。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
施設HPアドレス	https://kusatsu-art.center/creahall https://kusatsu-art.center/amicahall		2年目	118,726,718円	19,292,240円	131,745,449円	支出を上回る収入を確保している。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
指定管理者名	(公財)草津市コミュニティ事業団		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
2	☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1		評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	利用料金制
指定管理者による運営開始日	アマカホール:平成23年4月1日 クレアホール:平成27年1月1日
施設の供用開始日	アマカホール:平成4年5月6日 クレアホール:平成27年1月1日
指定管理導入前の運営形態	アマカホール:市直営 クレアホール:県営

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価… ☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価… ☆☆☆
年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)	事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)
<p>市民に愛される安全安心なホール運営と公平、公正、平等、快適な環境に配慮したサービスの提供を行います。基本理念である『あなたらしさをプロデュースする文化ホール～made in くさつ』の基本方針に沿った事業を展開します。中間支援組織として、文化芸術を通じたまちづくりを支える人材育成に努め『草津アートセンター』機能を充実させます。</p> <p>▼成果指標(目標) ①公演型事業数:9事業 ②講座型事業数:2事業 ③アウトリーチ型事業数:2事業 ④アートセンター相談件数:30件 ⑤情報発信: 情報誌12回 ラジオ12回、HP YouTube用ダイジェスト版を作成します。</p>	<p>▼成果指標(結果) ①公演型事業数:12事業(うちインリーチ1事業)、②講座型事業数:0事業 ③アウトリーチ型事業数:1事業、④アートセンター相談件数:21件 ⑤情報発信: 情報誌12回 ラジオ12回</p> <p>コロナの影響により、一部中止、または延期になった事業もあるが、各種団体と調整可能な限り実施に向けて取り組んでいたことは評価できる。蓄積したプログラムやネットワークは今後の事業展開に生かされることを期待する。 施設管理については、市と連絡を密に取り、予防保全に努め、大きな事故を防ぐよう努めた。利用者アンケートの結果も良好であり、適切に施設の管理・運営が行われたと考える。</p>
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)	公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証
<p>①協働型の文化芸術事業:『市民と創るコンサート』の実施 ②地域文化をまちづくりに活かした事業『オリジナルミュージカル、ミュージカルショー』の実施 ③知りたい情報が収集しやすい情報の発信『アートセンターニュース』を毎月発行 ④誰もが等しく文化に触れる機会の提供として『狂言ワークショップ』の実施や『子ども芸術鑑賞応援制度』の導入。『子育て支援コンサート』『ストリートピアノ体験』を実施。 ⑤子どもや若者の文化活動の充実として『青少年とつくるコンサート、ワークショップ』『舞台芸術学校』の実施。 ⑥草津らしい個性ある文化の創出『狂言』『落語』を草津街道交流館と連携実施。 ⑦文化を通じたまちづくりの推進を踏まえ、文化振興創造事業として『草津歌劇団』を実施、担い手『市民スタッフ』を育成。 ⑧利用状況については、コロナの影響により実質の利用件数は、クリアホールは1,507件(コロナによるキャンセル件数159件)、アマカホールは1,186件(コロナによるキャンセル件数114件)となったものの、コロナによるキャンセル料(還付金)を含めると利用料金収入はコロナ前と同水準で推移しており、貸館利用は定着している。</p> <p>▼成果指標(結果) ①公演型事業数:12事業(うちインリーチ1事業)、②講座型事業数:0事業 ③アウトリーチ型事業数:1事業、④アートセンター相談件数:21件 ⑤情報発信: 情報誌12回 ラジオ12回 YouTubeの活用</p>	<p>(非公募について) (公財)草津市コミュニティ事業団は、市の指定する中間支援組織であり、市だけでは実現が困難であった施策の展開について、市と協働しながら取り組まれてきた。また、草津の文化の担い手の育成、文化的資産の活用にも積極的に取り組まれ、文化を通じたまちづくりに貢献いただいている。</p> <p>(利用料金制について) Webの活用、ラジオや紙媒体等による積極的な広報などにより、利便性の向上および利用の促進に取り組まれている。また、利用者アンケートの結果からも料金設定に概ね満足との評価を得ていることから、利用料金制度を継続することで、指定管理者の経営努力を促したい。</p>

◇施設に係る主な指定管理業務
<ul style="list-style-type: none"> ・文化ホールの運営および維持管理に関すること。 ・草津市立草津アマカホール、草津クリアホールの各条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

文化振興事業（管理業務仕様書P.3）		
評価項目	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
評価項目1	上半期評価	上半期評価
	☆☆☆☆	☆☆☆
	下半期評価	下半期評価
	☆☆☆☆	☆☆☆☆

利用者満足度に関すること（管理業務仕様書P.3）		
評価項目	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
評価項目2	上半期評価	上半期評価
	☆☆☆	☆☆☆
	下半期評価	下半期評価
	☆☆☆☆	☆☆☆

貸館に関する業務（管理業務仕様書P.4）		
評価項目	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
評価項目3	上半期評価	上半期評価
	☆☆☆	☆☆☆
	下半期評価	下半期評価
	☆☆☆☆	☆☆☆☆

施設の維持管理（管理業務仕様書P.7）		
評価項目	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
評価項目4	上半期評価	上半期評価
	☆☆☆☆	☆☆☆
	下半期評価	下半期評価
	☆☆☆☆	☆☆☆☆